



特集5

障がいのある人達への 芸術活動支援を行う

「アトリエ素心居」の設立

2階ギャラリー
(絵画と陶芸作品)



特定非営利活動法人アトリエ素心居は、障がいのある人の隠れた感性や可能性を引き出すための創作支援活動と障がいのある人への理解を深めるための啓発活動を行うことを通じて行っています。

これまで、アウトサイダーとして低い評価しか得られなかった障がい者の芸術活動が、近年、注目され始めています。しかし、障がい者は、制作に打ち込める場所や発表の機会に制約を受けているのが現実です。例えば、特別支援学校を卒業してしまうと、趣味や余暇として芸術に接



4人のぶどうがり

することがほとんど無くなります。優れた才能や感性を持つていながら、それらが十分に発揮されていないのが現状です。それは、そのような場や理解者が、まだまだ少ないことに起因すると思います。

そこで思いついたのが、アートの視点から、障がい者の新たな生き方を見つけ、文化的で人間性の感じられる活動の場を造ろうということでした。そして、行き着いたのが蔵をイメージした木造二階建ての「アトリエ素心居」を建てることでした。

平成13年7月に完成した「アトリエ素心居」という建物の名前は、「飾りのない素のままの気持ちで集まるところ」との意味

で、障がいのある人達の視線にあわせた「素直な心」で集える場所でありたいとの思いが込められています。

「アトリエ素心居」での活動

「アトリエ素心居」の工房では、毎週土、日曜日に障がいのある人たちへの芸術活動支援として、専門講師による陶芸や絵画の制作支援を行っています。また、二階ホールでは、毎月一回、第三日曜日に音楽教室の講師経験者をお迎えして、音楽ムーブメントを開催しています。これは、障がい者の潜在能力を引き出したオリジナル性の高い作品づくりや音楽的な表現の支援をす



特定非営利活動法人
アトリエ素心居
理事長
河部 宏子
(松山市)



アトリエ素心居作品集

障がい者にやさしいまちづくり

行しています。この作品集の巻頭には辛淑玉氏（香科舎代表、人材育成コンサルタント）からは、「素心居で活動している人たちと出会い、彼らの作品に触れ、わたしのとなりにピカソがいた」とのコメントを頂きました。作品集は、関係機関等に広く配布し紹介するとともに、定価1500円で「アトリエ素心居」でも販売をしています。

さらに、「アトリエ素心居」2階ホールにあるグラインドピアノを使って「絵本の語り読み会とミニコンサート」「夕涼みコンサート」「クリスマスコンサート」等を専門の演奏者、朗読者のご協力を得て開催しています。これらは地域の人々と障がい者が気軽に



夕涼みコンサート

るためのものです。

また、啓発活動として、障がいのある人が制作した優れた陶芸や絵画の作品約200点を「ふしぎなせかい展」と題して、アトリエ素心居2階ギャラリーで展示、紹介し、参観者の共感を

に質の高いコンサート等を楽しむことができる機会となっております。

このように「アトリエ素心居」では、障がいのある人達と地域の人たちが、一緒にアトに触れることができる交流の場となることを目指し活動しています。

今年も「みんなでたたこうIN愛媛2011」を開催します

さらに、特定非営利活動法人アトリエ素心居では、平成14年に障がい者だけの和太鼓グループ「いつてき太鼓」を立ち上げました。メンバーは、さまざまな障がいを持った人たちが20数名で、14歳から38歳の人が参加してあります。この和太鼓演奏支援は、愛媛県視聴覚センターの太鼓ルームを借りて、毎月第二、第四日曜日に行っています。また、愛媛県内の障がいのある人達の和



みんなでたたこうIN愛媛2011 ポスター

太鼓グループに呼びかけ「みんなでたたこうIN愛媛」―せかいにすみっこはあります―と題して、演奏会と交流会を平成17年から開催しております。今年も、7回目となる「みんなでたたこうIN愛媛2011」を10月30日(日)に松山市総合福祉センター(若草町8-2)の大会議室で開催いたします。

太鼓を愛し生き生きと頑張っている仲間達との年に一度の「お祭り」として、定着してきました。参加者の個性ある優れた才能や可能性を引き出し、さらなる前進を願って精進してまいります。今後とも「みんなでたたこうIN愛媛」の開催を温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

当日は、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



みんなでたたこうIN愛媛2010